

「男女共同参画の視点に立った地域の課題解決」のためのプログラムデザイン

【事業名】 私が！家族が！みんなが！安心して暮らせる「避難所運営30days」シミュレーション **【3か年事業として毎月1回土曜日午後3時間開催】**

【趣旨】 現在の地域防災、避難所運営は、町内会や自治会任せとなっているため、多様な視点が入り入れられず、避難が長期化した場合に、特に社会的弱者が多く我慢や無理を強いられる可能性がある。災害発生から仮設住宅が建設されるまで約1か月間の長期避難を想定し、自分や家族が安心して過ごせる避難所を考えるとともに、多様な形の家族と一緒に生活する場面を実際にシミュレーションすることで、お互いが認め合い、助け合い、個々を尊重した避難所を創り上げる知識やスキルを学ぶ。

課題 地域での防災、避難所運営について、町内会や自治会に任せきりとなり、結果、定年後の男性が運営の中心となってしまう場合が多く、多様な視点を取り入れられない。短期の避難ならば我慢できて長期化すれば誰かにしわ寄せがきてしまう。

目的 災害発生から1か月間の長期避難を想定し、自分や家族が安心して過ごせる避難所を考えてもらう。家族によって人数、子供の有無や年代、何らかの支援が必要な人がいるか、ペットの有無など様々で、多様な人々が一緒に生活する避難所を創るには、男女共同参画の視点が重要であることを学ぶ。

対象 町に住む女性 最大200人(町の人口に合わせて1～複数町ごとに) **【6圏域183町】** **開催場所** 公民館や学校の体育館といった実際に避難所となる場所

